

「行革甲子園 2018」エントリーシート

【取組の内容】

1 取組事例名

五島地区若者定着促進連携会議

2 取組期間

平成 28 年 10 月～（継続中）

3 取組概要

五島地区内の人口減少に歯止めをかけるために、ハローワーク、県五島振興局、市、学校、各業界団体等で構成する連携会議を平成 28 年 10 月に発足し、事務局は県五島振興局総務課が担当している。年度当初に総会を開催し、前年度実績、当年度計画を決定している。事業内容としては、企業説明会、人材育成セミナー、地元企業訪問バスツアーなど、高校生、求職者の雇用につなげる取り組みを実施する。

4 背景・目的

高校卒業後の進学は、すべての学卒者は市外へ転出しており、就職希望者も市外への就職が多い状況であった。高校在学時に地元企業を把握することで、将来の就職先の選択肢となり、Uターン者を含め地元企業へ就職することを目的とする。

5 取組の具体的内容

平成29年度若者定着連携会議の主な取り組み

- ・島内事業所説明会（平成29年7月3日実施）
参加者：130名、参加企業：28社
- ・五島市企業フェスタ（平成29年8月21日実施）
参加者：60名、参加企業：23社
- ・“しま”合同企業説明会 in 長崎市（平成29年10月15日実施）
参加者：25名、参加企業：15社
- ・人材力協力セミナー（平成29年12月14日実施）
参加者：27名
- ・優秀な人材を獲得するノウハウと成功事例セミナー（平成30年1月23日実施）
参加者：25名
- ・五島市合同企業説明会（平成30年1月26日実施）
参加者：30名、参加企業：19社
- ・地元企業訪問バスツアー（平成30年2月3日実施）
参加者：30名、訪問企業：10社
- ・“しま”企業説明会・移住相談会 in 長崎市（平成30年2月11、12日実施）
参加者：33名、参加企業27社



“しま”企業説明会・移住相談会 in 長崎市の風景

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

若者の市内就職を推進するため、市内高校、行政、民間企業と連携し、企業説明会、企業訪問バスツアー等に市内高校生が参加し地元企業を知ることにより、就職の選択肢が拡大する。

7 取組の効果・費用

市内高校生の新規学卒者の地元就職率の向上（就職希望者の地元就職率）

H25年度：44.3%、H26年度：40.3%、H27年度：40.8%、H28年度：43.9%、H29年度：45.6%

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- ・企業説明会への参加者が少ない。
- ・魅力ある企業説明会になるような工夫が必要。

9 今後の予定・構想

- ・地元高校生が地元企業への就職率を50%以上にする。
- ・市外からの雇用を促進するため、市外での企業説明会を実施する。

10 他団体へのアドバイス

- ・市内高校、地元企業及び行政との年間スケジュールや開催日程調整等が重要である。
- ・場所の確保や参加企業の調整が必要。

11 取組について記載したホームページ

- ・イベント開催時のみ周知HPを掲載